

会員入会制度変更のお知らせです！

オイスカでは多く皆様方にご入会をいただいておりますが、今年度6月より入会方法が変更になります。具体的には年度を四半期に分け、入会月により初年度会費もかわり、次年度からは全額の会費をご納入していただくことになります。これにより入会のお勧めや入会がしやすくなりオイスカ活動へ参加もできます。これからも更にご支援の輪を広げていけるよう努めてまいりますのでご協力の程よろしくお祈りいたします。

詳細については以下のとおりとなります。(満川、安東)

初年度会費 (H28年度より)

・特別個人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	50,000円	37,500円	25,000円	12,500円

・特別法人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	100,000円	75,000円	50,000円	25,000円

・維持個人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	20,000円	15,000円	10,000円	5,000円

・維持法人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	40,000円	30,000円	20,000円	10,000円

※ 入会申込書の日付で会費額を決定する。



ご協力ありがとうございます！

(平成28年5月1日~5月31日、敬称略)

寄付金: 田代和夫、株式会社ハラダ

新入会: 榮晴美、五味俊哉、大霜和恵、北嶋由紀、桑水流進、坂本裕子、芹沢卓、田中靖枝、布巻伸彦、船曳美愛、本村聖華、山田哲夫、藤原恵、町野緑、福永亜紀子、久徳由紀、古賀啓助、佐野寛之、高田信子、中山秀明、長谷川紀子、本田健一、山口誉夫、山本道郎、川口眞美、高桑あい子、吉田朋子、三好信幸

寄付品: 原田明、中村工業株式会社、柴戸純子、黒田啓介、ブルハン、中村富美夏

6月の予定

- 1日(水) ひなた園(佐賀)梅収穫
- 2日(木) 早良高校和太鼓見学
- 3日(金) マレーシア・マラ公団 学生帰国
- 4日(土) こらぼら田植え
脇山公民館研修生歓迎会
- 6日(月) 長崎県推進協議会総会
- 7日(火) 脇山小学校交流会
- 9日(木) 鹿児島県推進協議会総会
- 10日(金) オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟総会
- 11日(土) 平成28年度海外研修生基礎研修修了式
- 16日(木) インドネシア大使館ダデン農業担当官来所
- 17日(金) 若竹保育園田植え
- 18日(土) 体験農園田植え
脇山校区田植え
- 20日(月) インドネシアより技能実習生入所
- 25日(土) 第99回ライオンズクラブ国際大会ブース出展
JR労組茶畑作業、交流
- 26日(日) 大野城市 Tomorrow 交流会
- 28日(火)・29日(水) 壱岐小学校生徒来所 交流会
- 29日(水) (株)木下写真スタジオにて研修生写真撮影

鬼木大明神の今月の一句

人生はいつも弱い自分と強い自分がぶつかり合う。その場その時にしたくない自分、弱い自分に打ち勝つことだ。強い自分でチャレンジすることだ。チャレンジもしないで(やりもしないで)できなかったと決めつけてはならない。できない阻害要因は自分の外ではなく内にある。己に勝とう！
自分に勝とう！！

田代先生ありがとうございました。

当研修センター職員の田代和夫氏(84才)はオイスカの創設期よりご尽力をいただき、昭和41年にインドへ赴任、その後フィリピン、タイ、パラオで開発団員として技術指導に当たられました。63年からはオイスカ西日本センター副農場長とし海外研修生の育成に努めてこられる中、平成3年に外務大臣賞を受賞されるなど栄誉に輝かれました。

この度、5月14日の海外研修生入所式でご挨拶を頂き公益財団法人オイスカを退職されました。

永年にわたるオイスカ活動に敬意を表しますと共にこれまでのご功績に心より感謝申し上げます。これからもいつでもお元気でいて下さい。本当にありがとうございました。(満川)



まるごと!西日本



発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

第 635 号

平成 28 年 6 月号付録

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



28年度海外研修生入所式

5月14日、今年も8カ国1地域、14名の研修生の入所式が行われました。昨年のテレビ番組『YOUは何しに日本へ?』で一気に注目度がUPし今年は、これまでにないほどの来場者を迎えての入所式となりました。色とりどりの民族衣装に身を包みそれぞれが緊張した面持ちで迎えた入所式、覚えてばかりの日本語を使って自己紹介をしました。研修生代表スピーチでは、フィジーのジョシが日本での研修の抱負と帰国後は、フィジーで最初の女性有機農業者になる夢を語ってくれました。そして、会場の皆様からも3月の帰国までの彼らの成長を楽しみにする声も聞かれました。日本語の勉強もさることながら、これからのよいよ本格的な研修が始まります。これから1年間頑張りますのでご支援よろしくお祈り致します。(彦坂)



1年間がんばります！



朝倉推進協議会発足40周年行事

5月21日(土)、朝倉市松屋ガーデンパレスにてオイスカ朝倉推進協議会発足40周年記念行事が盛大に行われました。約130名の参加者があり、研修センターからは廣瀬所長、研修生全員が参加をしました。式典の内容は、会員継続30年、40年の永年会員表彰、中野総裁の講演「オイスカの歩みとふるさとづくり」、40年の歩みのスライドの上映などが行われました。オイスカ朝倉推進協議会の秋重会長の挨拶の中で、「次の50年、100年も大切ではあるが、今こそ原点に帰って先人の功績を2代目、3代目に引き継いでいくことが必要」と述べられました。(安東)

講演中の様子



オイスカ朝倉推進協議会発足

中野総裁の講演



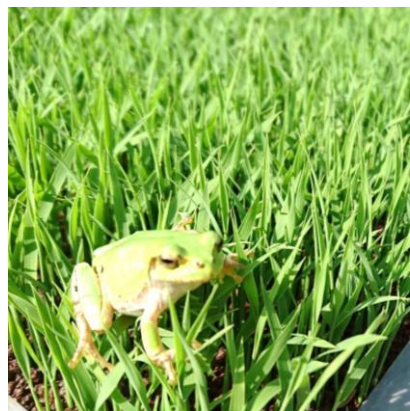
オイスカ・脇山農園だより

5月の連休明けから、オイスカの田んぼでは田植えが始まります。最初は「夢つくし」という品種で9月上旬頃に収穫ができます。センターのグラウンドにも早苗が整然と並び、スズメやハトからの攻撃と闘いながら、田植えの順番を待っています。

稲作の担当者であるコメのスペシャリスト「マルビン先生」は、毎日我が子のように稲を大切に育てており、今年の秋にはたくさんの収穫が期待できると思います。

畑の方では夏野菜の苗の植え付けが終了し、研修生も日本語の授業の合間をぬって、野菜の管理や除草作業に頑張っています。

これからオイスカ農園は益々忙しくなりますが、今年も有機農業を勉強したいという高い意欲を持った研修生が揃っているので、実りの多いオイスカ農園になると思います。（豊田）



茶摘み交流会

お天気の心配をしていた体験農園のお茶摘み体験ですが、少し汗ばむほどの天気にも恵まれての実施となりました。まずは、いつも指導していただいている日田の吉田さんからお茶について簡単な説明を受けた後、前日に摘んで一晩日陰干ししておいたお茶の葉で紅茶を作り、その後センターから車で20分脊振山の中腹にあるお茶畑に移動しました。お茶摘み夢中になっているとイノシシが掘った穴に足を取られて、あちこちで悲鳴も上がっていましたが、たくさんのお茶を摘むことができました。戻ってきてからは紅茶に加え釜炒り茶づくり、吉田さんが用意してくださったお茶の試飲をしました。最後に自分たちで作ったお茶を少しずつ

お持ち帰り用に分けて大満足の様子でした。

(彦坂)

お茶摘みの様子



博多どんたく出演

例年参加させて頂いている“どんたく”。西新の会場も、いつもの会場から西南大学内へと移り、さらに今年は福岡県知事庁舎で小川知事の前で研修生の民族舞踊を披露することができました。日中は、日本語の勉強で頭を抱え込んでいた研修生も夜の踊りの練習がちょうどいい気分転換にもなったようでした。入所後まもなく、お互いに相手のことがわからない中でしたが、毎晩踊りの練習をするうちに言葉を超えて和やかな関係になっていきました。当日は、メイクや衣装も準備万端整え前日の大雨とは違って変わった晴天に恵まれ、多くの方に今年の新研修生の踊りを見ていただきました。今年もまた、ここから研修生たちのステージが始まります。これからも、多くの場所で披露する機会があると思います。

是非楽しみにして下さい。

(彦坂)



小川知事と記念撮影

オイスカ佐賀県推進協議会総会

5月12日(木)、オイスカ佐賀県推進協議会の総会が行われました。来賓として佐賀県選出の国会議員8名全員の秘書と(公財)佐賀県国際交流協会の事務局長のご出席がありました。また議事に先立ち、オイスカ緑化技術参事の清藤城宏氏による東日本大震災被災地での海岸林再生プロジェクトについて講演を頂きました。議事も滞りなく進行し、各議案もそれぞれ承認され、本格的にオイスカ佐賀県推進協議会の1年が始まりました。(安東)



研修生も数名参加しました。

インドネシア技能実習生2名

三友金属:溶接業技能検定試験にチャレンジ

5月15日(日)、今年の8月で2年目を迎えるインドネシア技能実習生2名(ディック、ブルハン)が、北九州にある日本溶接機構の試験場で、2号に移行するための検定試験に挑みました。最初は教室で40分間ほど筆記試験を行い、その後手溶接の実地試験を行いました。

実地試験では鉄の板を溶接でつなげる作業を行いました。他の技能実習生よりも出来栄がきれいで、素人が見ても申し分ない仕上がりでした。受け入れ先の三友金属の社員の方からも、彼らの溶接技術のレベルは上がっていると評価を頂いており、これからの成長が非常に楽しみです。(豊田)



ディック



ブルハン

手話ダンス発表会鑑賞

5月22日、「手話ダンス YOU&I 北野 手話発表会」の鑑賞に行きました。

実際に聴覚障害をもつ方たちの一生懸命なダンスと楽しそうな笑顔に研修生達は釘付けになっていました。また、メッセージ性のある音楽に合わせたダンスばかりで涙する研修生もいました。研修生は入国から1か月が経ち、生活には慣れてきたようですが今まさに大きな言葉の壁にぶち当たっています。手話は、聴力に障害がある人へのコミュニケーションのツールですが思っていることを言葉でストレートに伝えるのが難しいという面では、言語の違いも同じではないかと思えます。しかし、心から伝え心から聴けば伝わるということを改めて感じさせられ、自信をもらったようです。優しくパワーのある温かい時間でした。(榮)

開演前の様子



交通安全教室

研修生たちも入所から1ヶ月、入所式も無事に終えセンターでの生活にもだいぶ慣れてきました。日本語も少しずつ上達し4月のときのような寒さもなくなり、天気のいい日に外に出かけるにはちょうどいい季節となりました。研修生たちもこれまでは、休日の外出も散歩程度に留まっていたのですが、この日は警察署から交通安全指導に来ていただき、日本での交通ルール、マナー、自転車の乗り方などの指導を丁寧に教えていただきました。中には、自転車に乗るのが初めてで、まずは自転車に乗る練習からの研修生もいましたが、これからは、休日の天気のいい日には自転車に乗って外出も出来ます。

くれぐれも転んで怪我や事故にあわないよう気を付けて日本での生活を満喫してもらいたいです。(彦坂)

真剣です！→



防災訓練

毎年、基礎研修後半のこの時期と11月の年2回、防災訓練を行っています。特に今年は、彼らの入所後2日目(4月11日)に起こった“熊本大地震”のこともあり地震の際の避難の仕方から火災の時の初期対応について学びました。消火訓練では、水消火器を実際に使っての消火訓練とセンター館内にある消火栓を使って放水体験を行いました。消火栓を使った放水体験では、代わる代わるホースを持ち体験しました。中には、見た目以上の水圧に驚く研修生もいました。消火器も消火栓も使う機会がないことが一番ですが、いざと言う時には、今日の訓練を活かしてもらえと思っています。普段、あまり気にすることもなく生活していますが、防災について考えるいい機会となりました。(彦坂)

「火事だー！」→

